

# 活かす通信

2022年5月 (178号)

<http://www.toushi-club.com>

★★

## 巻頭言

元時事通信記者 篠田憲明

「ロシア、化学兵器使用も」—マウリポリ難攻不落で

★★

ロシアがウクライナ侵攻してほぼ2か月になる。20日にはウクライナのマウリポリでロシア軍の“最後通牒”に対し、ウクライナの最強軍団とされる「アゾフ連隊」は最後の砦である「アゾフスタリ製鉄所」に立て籠り徹底抗戦の姿勢であり、本日の時間リミットまでに投降する動きは見せていない。このアゾフスタリ製鉄所は本来欧州最大級の製鉄所だが、第二次世界大戦時にナチスドイツに一時占領された。ソ連邦崩壊後、ウクライナにより地下8階建ての核シェルターや秘密のトンネルを有する要塞に再建され、このためマウリポリ民間人の避難場所にもなっていた。親ロシアのドネツク人民共和国の幹部さえ「アゾフスタリ製鉄所の地下には広大な地下要塞が有る」と“難攻不落の要塞”と証言しており、通常火器での征服はまずは困難だろう。その場合、タイムリミットの5月9日ロシア軍がナチスドイツを降伏させた「戦勝記念日」に間に合わない可能性もある。その場合、怒り狂ったロシアのプーチン大統領は化学兵器か最終的には戦略核兵器を選択肢に入れていると予想する向きもある。

またウクライナ侵攻に対するロシア制裁が最大の議論になるものと予想される「G20」(G7のほか、アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、中国、インド、韓国、メキシコ、ロシア等20か国の蔵相・中央銀行総裁会議)が今夜米国で開催されるが、これには、当事者・ロシアも参加を予定しており、対ロシア制裁賛成派と反対派、中間派が入り混じった複雑な展開となるだろう。議論の展開次第によっては、G20 そのものの意義を問われると言うか、もっと言えばポスト・ウクライナ侵攻後の世界秩序が見通せる大きな分岐点になることも。

これに先立ちG7(先進7か国首脳会議)及びEU(欧州連合)、NATO(北大西洋条約機構)の首脳が19日、オンライン会議を開催。ロシア・ウクライナ山場の攻防で民間人被害を懸念し、迅速な支援が共通の責務であるとの考えで一致。米欧は火力を重視した軍事支援を加速、日本はウクライナに借款3億ドルの供与と監視用ドローンと化学兵器対応用の防護マスク等を提供する意向を表明した。これでは、G7も徹底抗戦を推奨しているようなもの。一体砲火器や戦

闘機をどのようにウクライナに手渡すのか、手はずが整っているようには見えない。ましてや民間人の避難をロシア軍が邪魔をしているとあっては、何をか況や。仮に化学兵器などで民間人が大量殺戮にあった時に、日本を含め西側はどう出るのだろうか。(憲)

★★

## 勝池レポート      アジア資産運用アドバイザー   勝池和夫

### 「インドの大富豪の見通し」

★★

今回はインド最大の民間企業であるリライアンス・インダストリーズの会長、ムケシュ・アンバニ氏 (64 写真) の意見をご紹介します。今年 2 月 23 日のインド外務省主催の” The Asia Economic Dialogue” で述べられたものです。

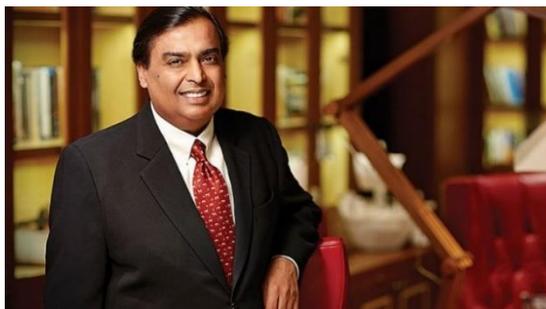
#### ○ インド経済の将来について

“When wood was replaced with coal, Europe overtook India and China to emerge the world leader. Similarly, with the emergence of oil, the US and West Asia outgrew others. When India becomes not only self-sufficient in green and clean energy, but also a large exporter, it will help India emerge as a global power”. (木材が石炭に取って替わられた時、ヨーロッパはインドと中国を追い越し、世界のリーダーに浮上しました。同様に、石油の出現でアメリカと西アジアは他国を圧倒しました。インドは、環境にやさしいクリーンなエネルギーを自給自足するだけでなく、大量に輸出するようになった時、世界規模の力を持つ国になるでしょう。)

“If the last 20years, we are known for India’s emergence as an IT superpower; next 20years, I believe, along with technology, will mark our emergence as a superpower in energy and life science”. (今までの 20 年間、インドが IT のスーパーパワーの台頭をとして知られるならば、これから 20 年間のインドは、その技術力でエネルギーと生命科学のスーパーパワーとして記憶されると信じます。)

“I foresee at least 20-30 new Indian companies in the energy and tech space which will grow as big as Reliance, if not bigger, in the next 10-20 years“. (次の 10～20 年間に、リライアンスのように大きく成長する新しいインドの企業が、エネルギーとテクノロジーの領域から少なくとも 20～30 社は出てくるでしょう。)

リライアンスは石油化学、小売り、通信などの事業を手掛けるインドの大財閥です。近年は再生エネルギーを柱に事業モデルの転換を急いでいます。



ムケシュ・アンバニ氏の資産はインドで一二を争う約 10 兆円

★★

## ムッシュ望月の今月の映画＋相場展望

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映する相場

★★

### 1, 映画：洋画「ベルファスト」

3 月は 10 本の作品に出会いました。通算では 36 本で今年も快調なペースです。アカデミー賞の受賞式がある月なので意識して作品賞のノミネート作品を中心に観ました。「ザ・パワー・オブ・ドッグ」、「ナイト・メアリー」、「ベルファスト」を慌てて鑑賞し、ノミネート 10 作品中 8 作品を観ることが出来ました。あと 2 作品は、まだ上映していないので評価は出来ませんでした。第 1 位を「ベルファスト」、2 位を「コーダあいのうた」、3 位を「パワー・オブ・ザ・ドッグ」と予想しました。残念ながら予想は外れ、2 位予想の「コーダあいのうた」が受賞となりました。今回は、日本の作品「ドライブ・マイ・カー」もノミネートされ話題となりましたが、残念ながら国際長編映画賞で終わりました。国内の日本アカデミー賞も「ドライブ・マイ・カー」が受賞しました。「ベルファスト」はアイルランドとイギリス合作のドラマ映画です。本作品はブラナー監督の半自叙伝的な作品です。1969 年、激動の時代に揺れる北アイルランドベルファストの故郷、家族を思う大切な気持ちが伝わってくる人生賛歌です。全編白黒の作品ですが、内紛の様子はカラー以上に迫ってくるものがあります。映画って良いですね。また来月お会いしましょう

### 2, 相場展望：相場は最悪期を脱出しつつある：

現在の相場環境は決して良い状況にはありません。コロナ感染拡大で下落を始めた日経平均は 2021 年 11 月 16 日の高値 29960 円は一段下げで 12 月 1 日に安値 27954 円を付け反発、米国の金利問題が浮上し 2022 年 1 月 27 日には二段下げ 26044 円の安値を付けるが、その後のロシアによるウクライナ侵攻に

伴う資源高、資源高による影響を受け世界経済が減速する、資源高に影響を受けやすい日本は、経常収支の恒常的な赤字懸念により円安が進み、ドル円が130円近くまで上昇した。三段下げで記録した3月9日の安値24681円で、悪材料は織り込まれたように回復し、3月25日には28338円まで回復した。このリバウンドをテクニカルで分析すると、11月16日高値29960円から3月9日安値までの下落幅5279円に対する半値戻し27320円を軽く超え3分の2戻し28200円を超えて調整入りした。「半値戻しは全値戻し」は相場格言通りの展開となる可能性が出てきている。原稿を書いている段階は連休前だけに出来高は減少し、様子見気分が高まっている。ただ外国人投資家は、4月に入り2週連続の大幅買い越しに転じ、1兆円ほどを買い越している。円安の目先ピーク130円を前に割安（PER13倍割れ）の日本株買い、つまり円高に転じる可能性も読みながら対応しているとも言える。ロシア軍も5月9日の独戦勝記念日に向けて最後の勝負を挑んでいます。5月3日、4日のFOMCでは0.5%の利上げが予想され、日本市場はゴールデンウィーク後に悪材料が好材料に転じる可能性も考えられ、11月16日の高値まで上昇する意外高を期待したい。

★★

## 2022年5月+6月のイベントのお知らせ

★★

06月15日（水）：18：00～第30回夏の交流会、外国特派員協会  
基調講演：雨宮京子氏（コロナやウクライナ後の相場はどうなる）  
プチコンサート：清野友香莉氏（オペラ歌手、二期会会員）

2022年5月+6月の活かす塾・イベント情報（3月28日記）

05月10日（火）：16：00～िकास投資塾（昼間）、िकास事務所  
05月11日（水）：15：00～花咲投資クラブ、िकास事務所  
05月12日（木）：13：30～日比谷投資クラブ、िकास事務所  
05月21日（土）：13：00～アマルフィー投資クラブ、リモート  
05月21日（土）：15：00～スペリオール投資クラブ、िकास事務所  
05月26日（木）：15：00～東京3E投資クラブ、リモート  
06月15日（水）：18：00～第30回夏の交流会、外国特派員協会  
基調講演：雨宮京子氏（コロナやウクライナ後の相場はどうなる）  
プチコンサート：清野友香莉氏（オペラ歌手、二期会会員）

新しい行事スタート！！

05月17日（火）：14：00～川柳を楽しむ会（毎月開催）、िकास事務所

